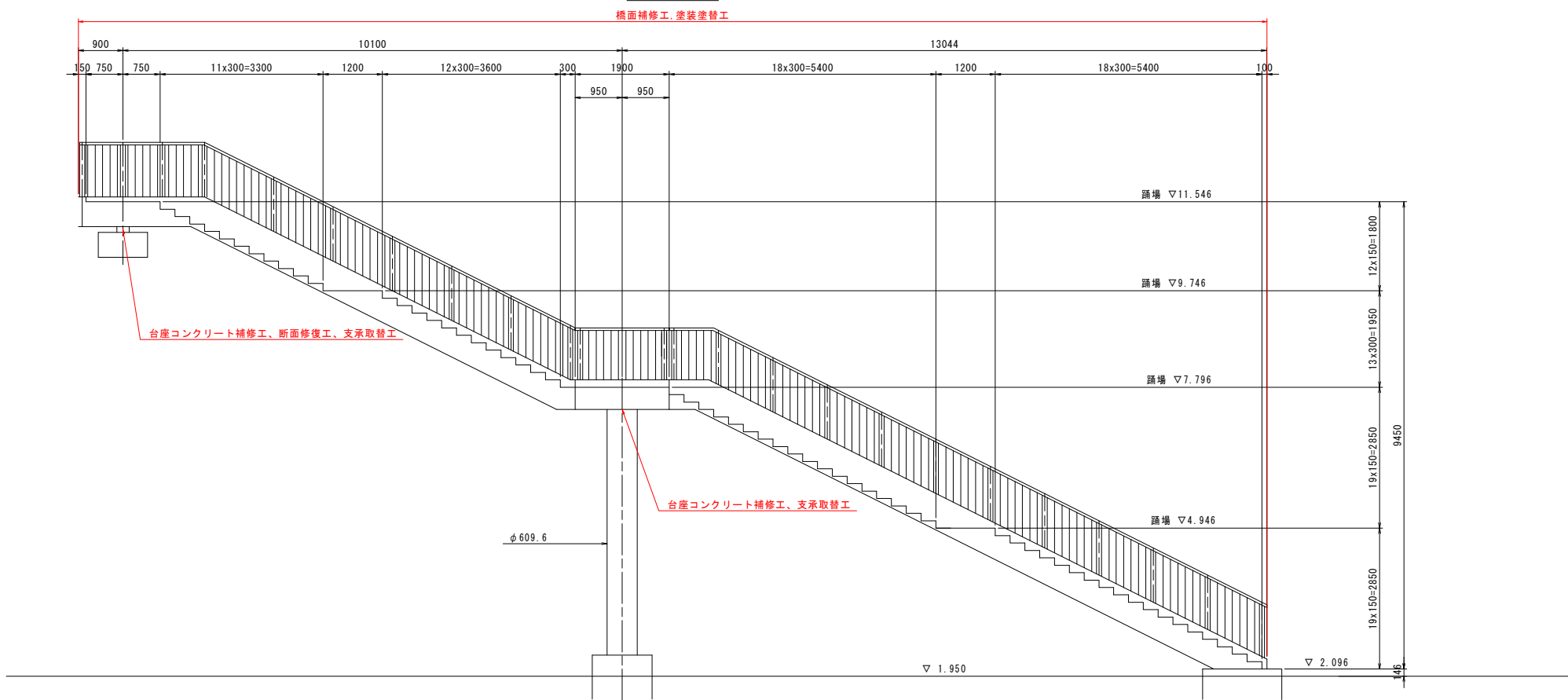


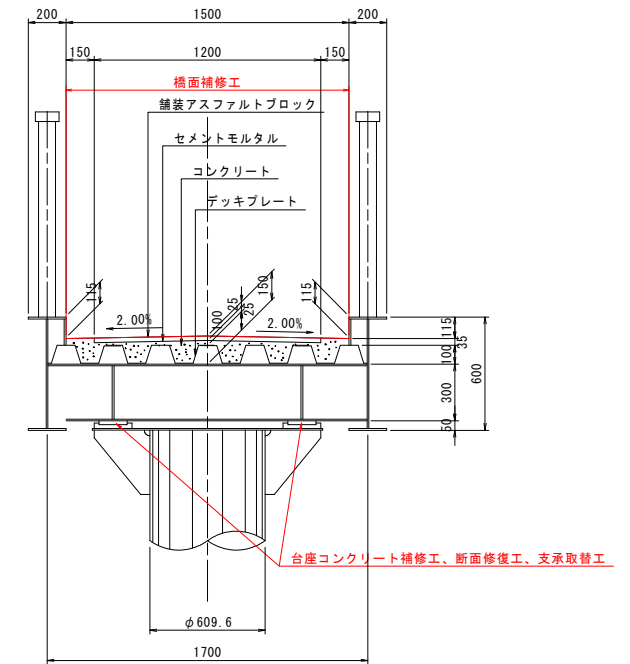
補修一般図 S=1:60

側面図

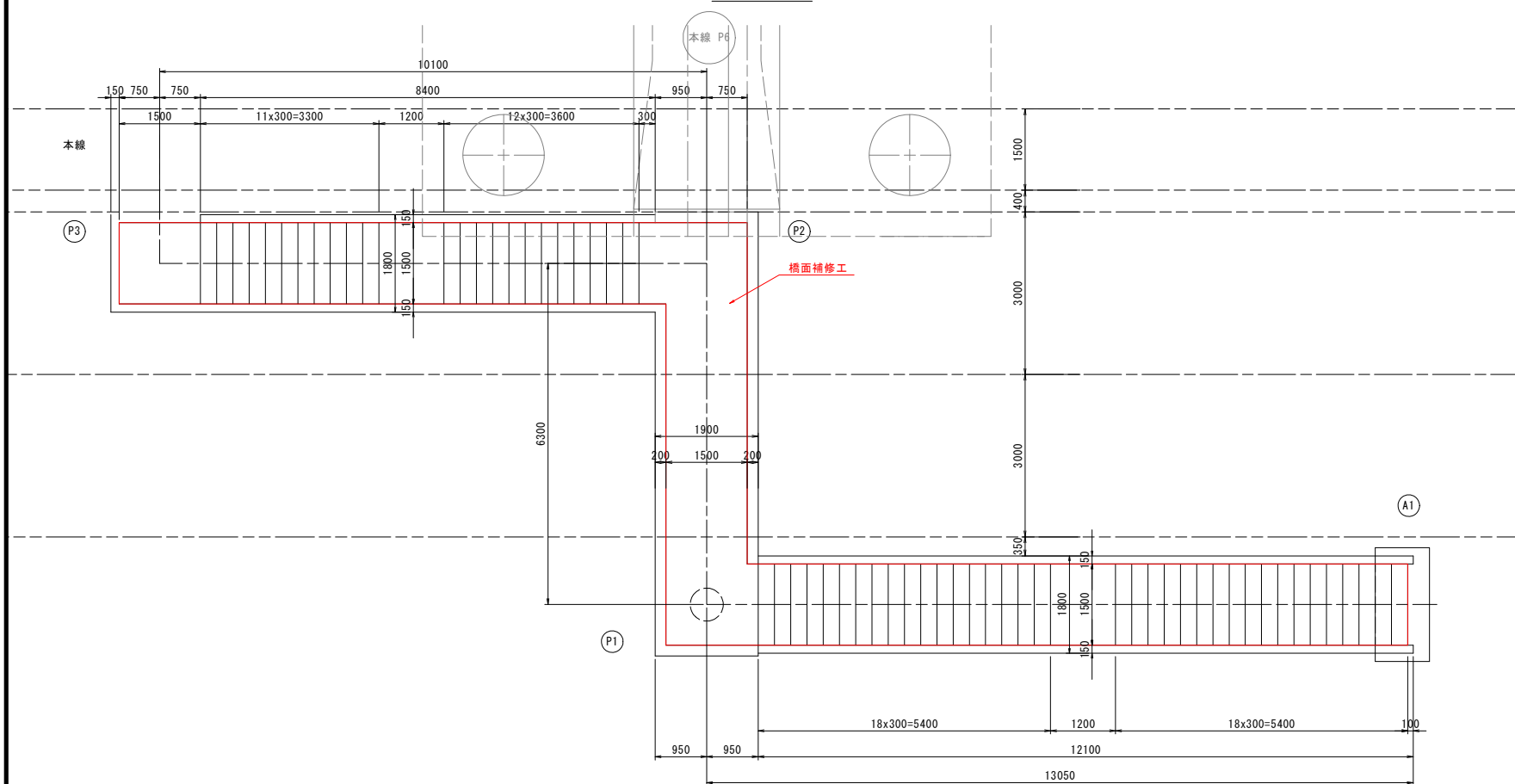


断面図 S=1:20

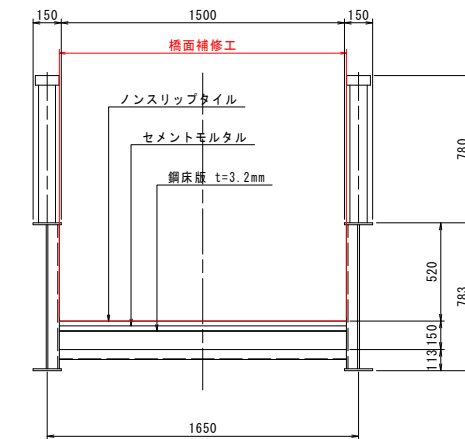
主桁部



平面図



階段部



弁財天側

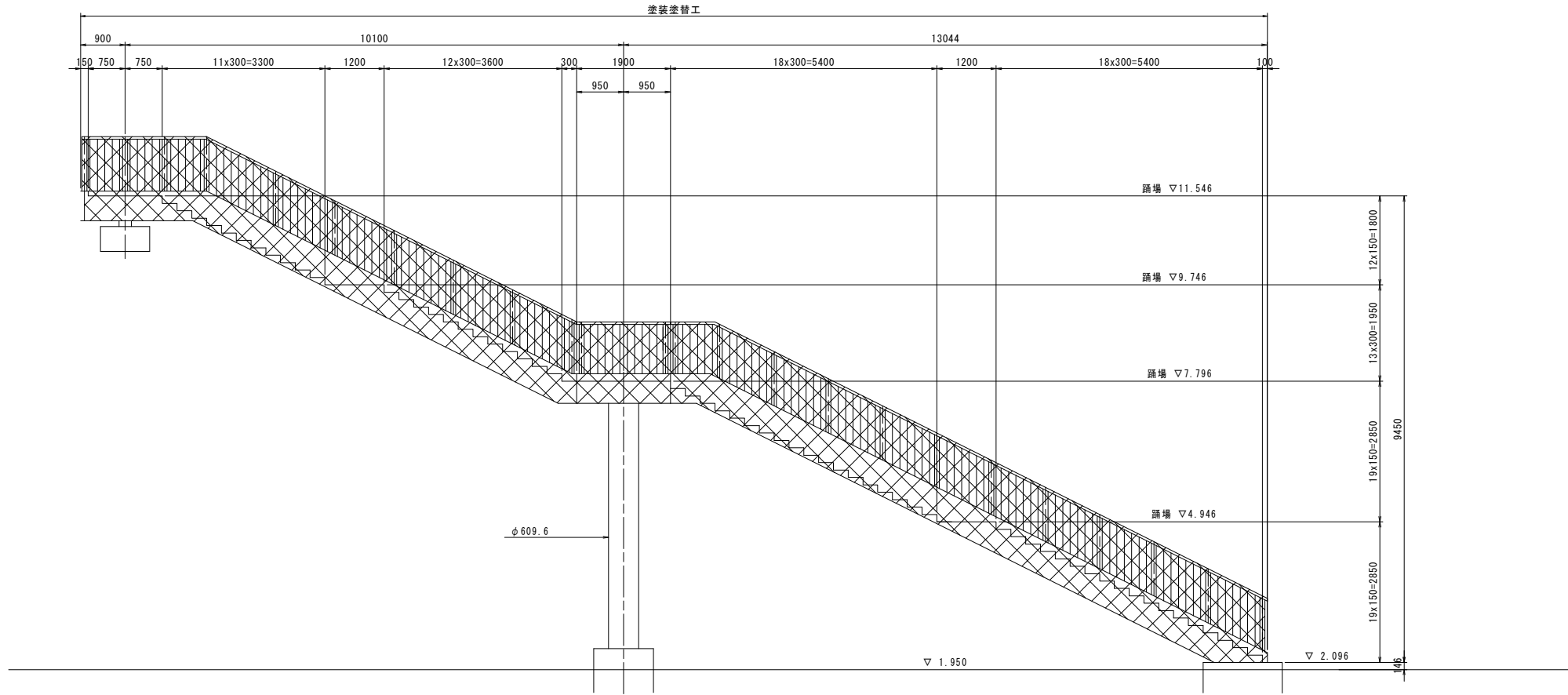
図面番号	第 1 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	補修一般図	縮尺：図示	
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

注記

1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

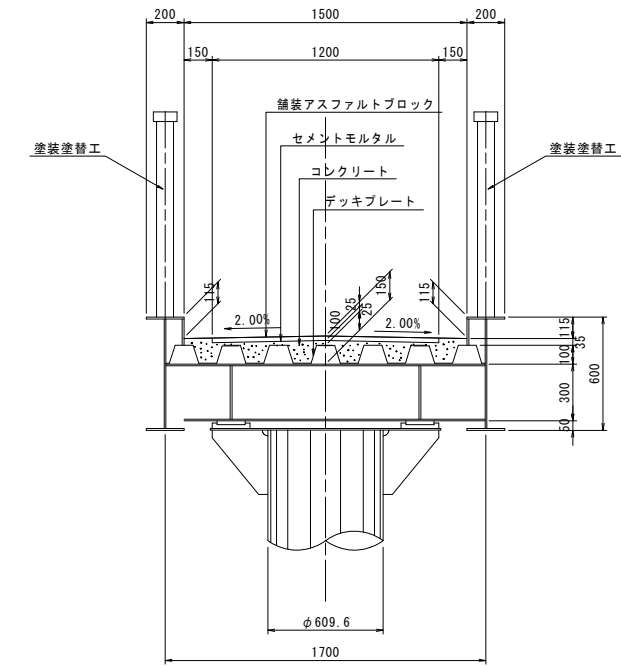
塗装塗替詳細図 S=1:60

側面図

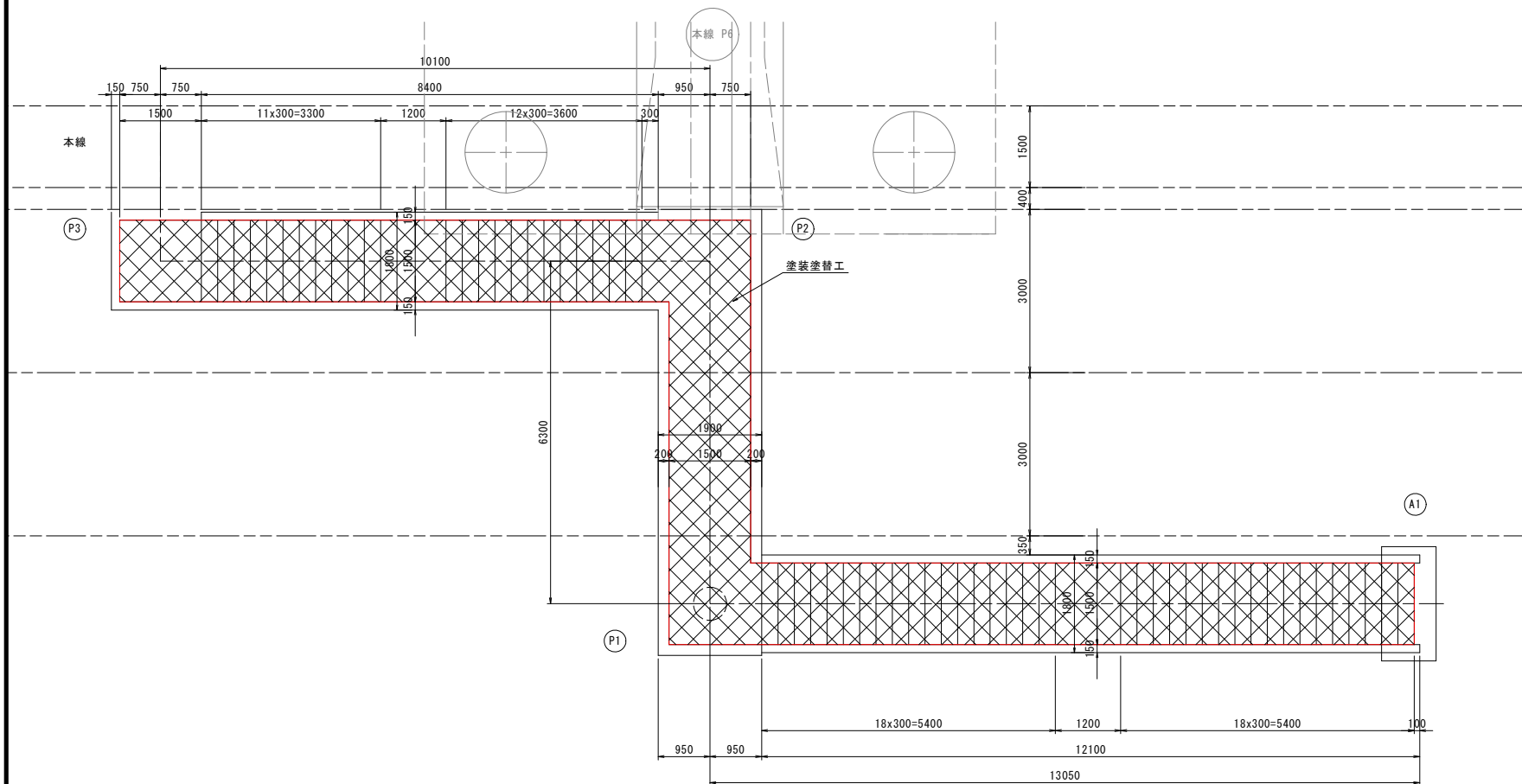


断面図 S=1:20

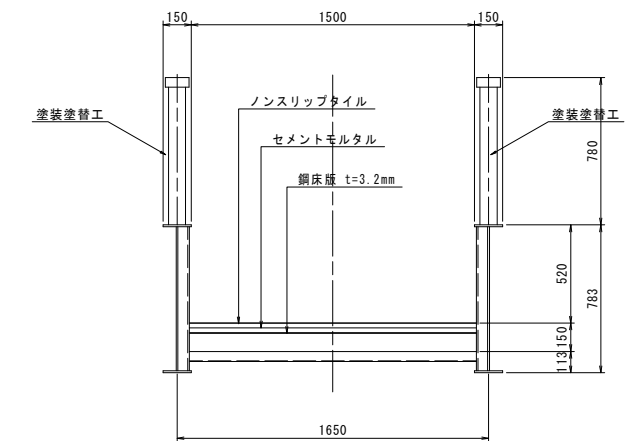
主桁部



平面図



階段部



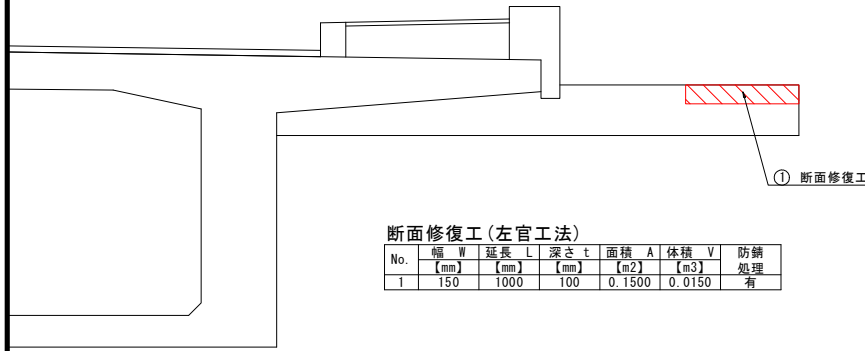
弁財天側

図面番号	第 2 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	塗装塗替詳細図		縮尺：図示
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

注記
 1. 本図面は、既存資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
 2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。

台座コンクリート補修詳細図 S=1:20

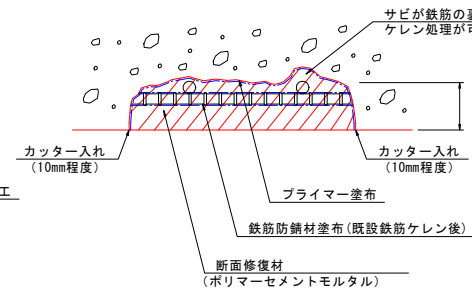
正面図 S=1:30



断面修復工 (左官工法)

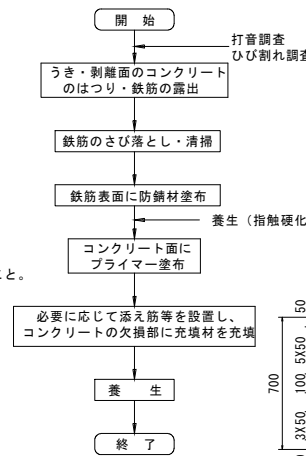
No.	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m ²]	体積 V [m ³]	防錆処理
1	150	1000	100	0.1500	0.0150	有

断面修復工詳細図



- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁端は、フェザーエッジが生じないようにカッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のかぶり厚が薄い場合は、ポリマーセメントモルタルで10mm以上は確保するように盛って貼り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の垂れ等の残骸は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ はつり深さは適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去して充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がある場合は、既設鉄筋の背面、既設部材の粗骨材寸法程度まで除去する。(10~20mm程度)
- ※ 豆板部で粗骨材が露出している部分においては脆弱部ははつり取り、健全部を露出してポリマーセメントモルタル等を塗布や充填して復旧すること。
- ※ はつりを行い、鉄筋が確認された場合は錆を除去した後、鉄筋防錆材を塗布すること。

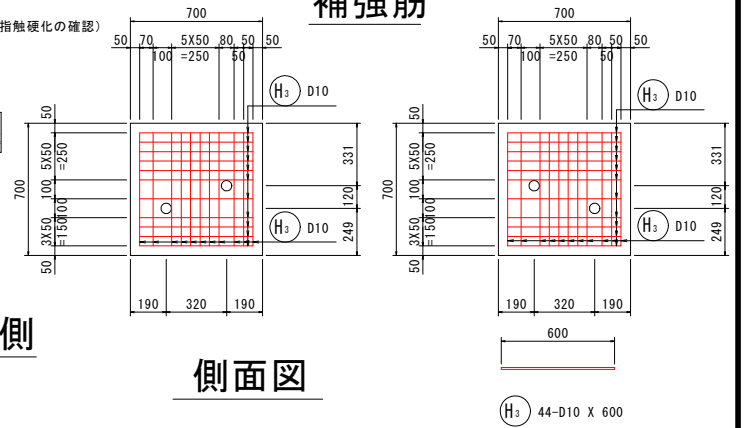
〔断面修復工法の施工要領〕



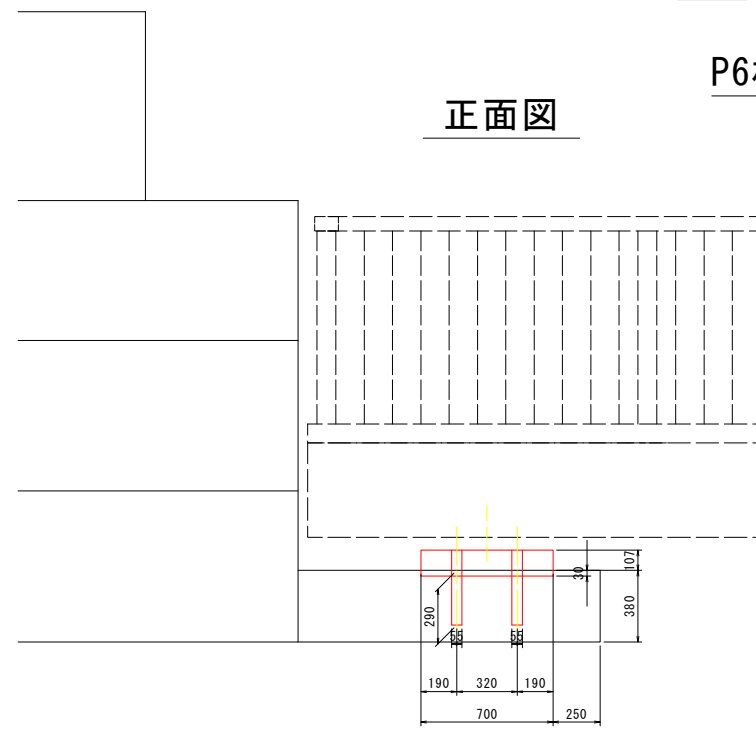
鉄筋質量表 (SD295)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
H ₁	D10	730	17	0.56	0.41	7	—	
H ₂	D10	450	26	0.56	0.25	7	—	
H ₃	D10	600	44	0.56	0.34	15	—	
							29	
合 計				29	kg			
総質量				29	kg			

補強筋



支承箱抜き詳細図



P6橋脚側

正面図

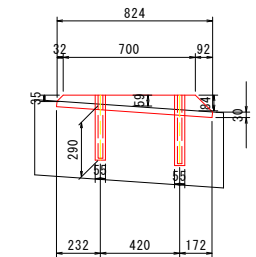
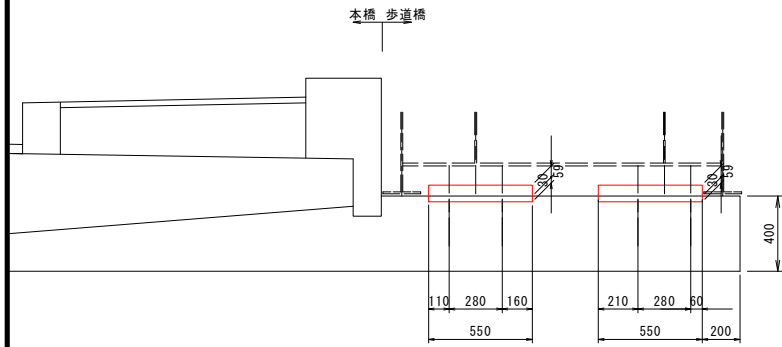
側面図

正面図

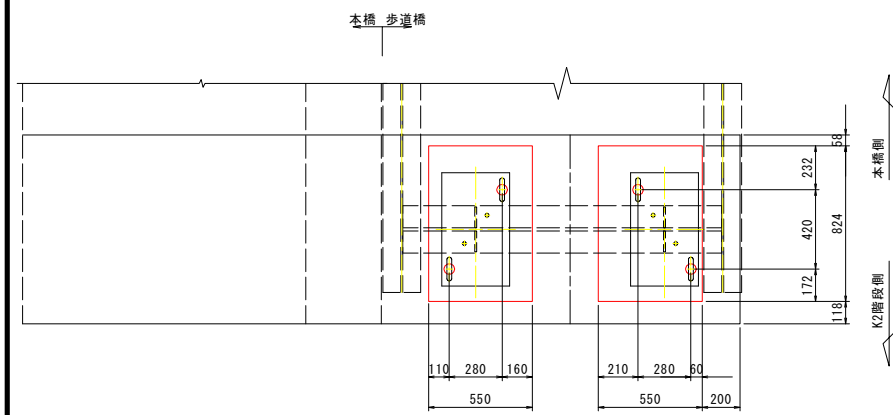
本橋側

側面図

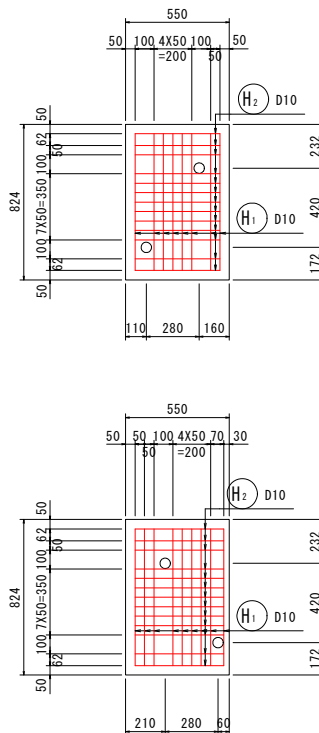
(本橋) 橋軸方向



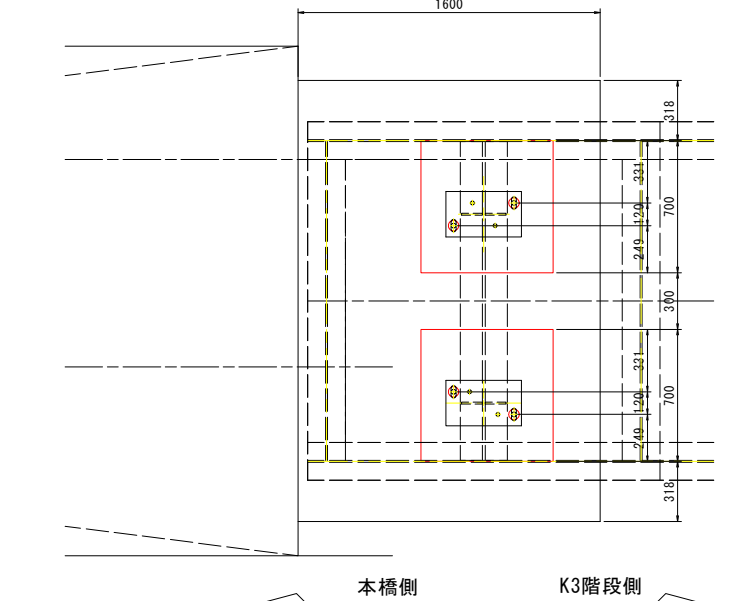
平面図



補強筋



平面図



弁財天側

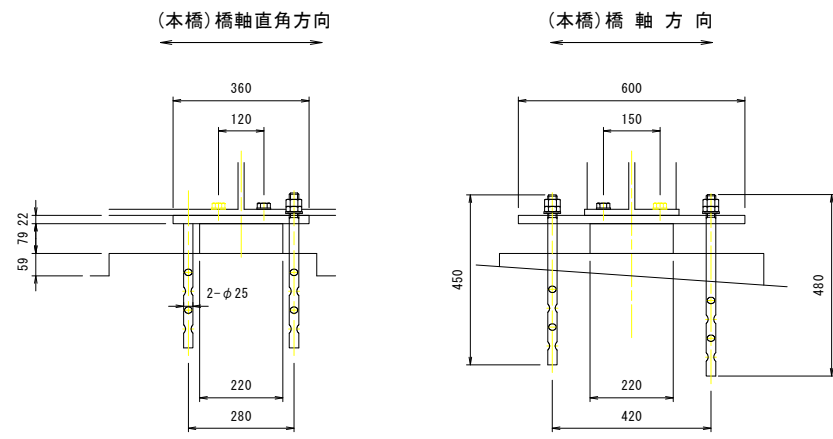
図面番号	第 3 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	台座コンクリート補修詳細図	縮尺	図示
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長
	係員	設計・製図	照査

「本図面は新JISA0101(2003)に基づき作成した図面である」(外形寸法)

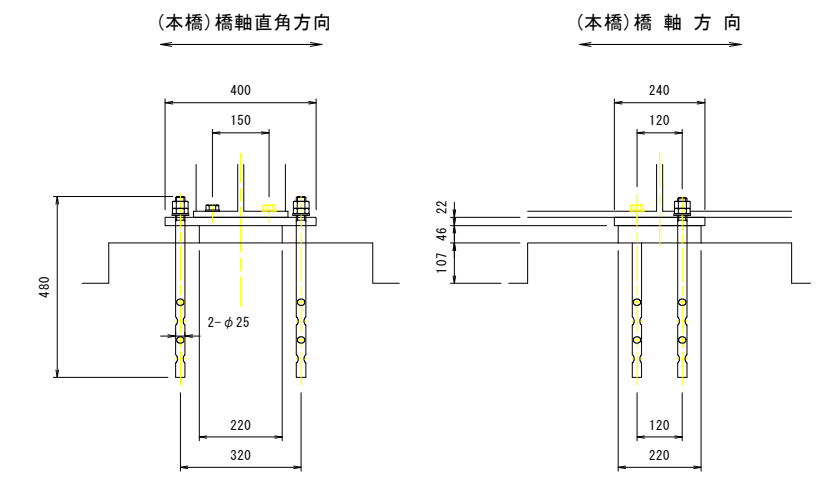
※ 台座コンクリートの形状は現地調査後決定すること。

支承詳細図 S=1:10

本橋部

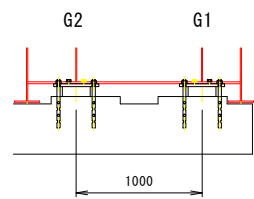


P6部

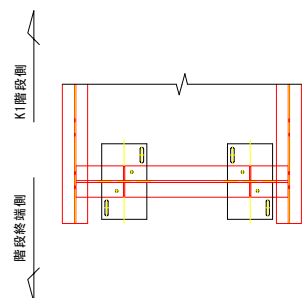


本橋部

断面図 S=1:30

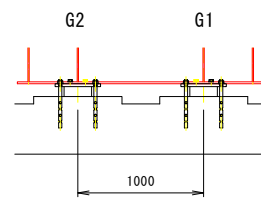


平面図 S=1:30

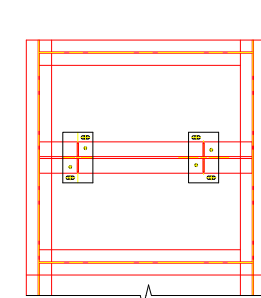


P6部

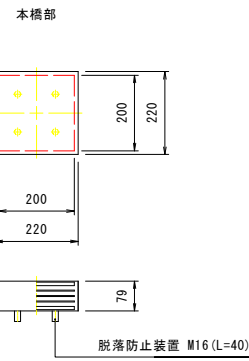
断面図 S=1:30



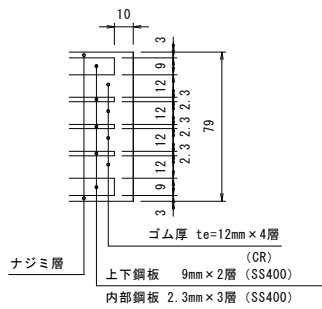
平面図 S=1:30



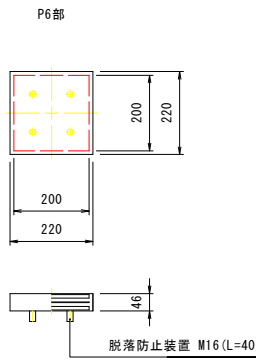
① ゴム支承 (CR+SS400)



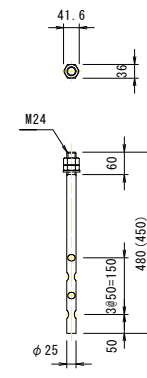
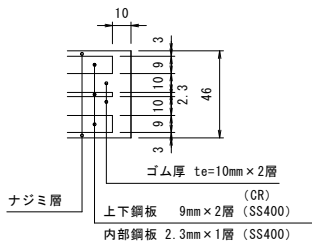
積層詳細図 S=1:2



③ アンカーボルト・ナット・ワッシャー (SS400) (SGめっき)



積層詳細図 S=1:2



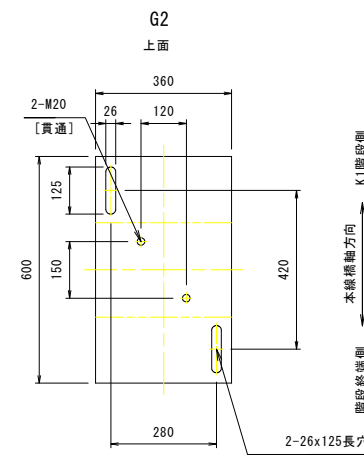
平座金 強度区分 10H又は14H

※ () 内は本橋部の片側を示す。
※ アンカーボルト長は現地調査後決定のこと。

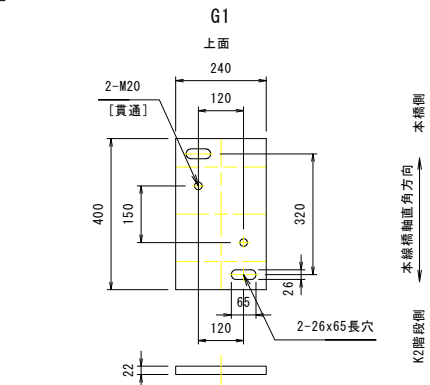
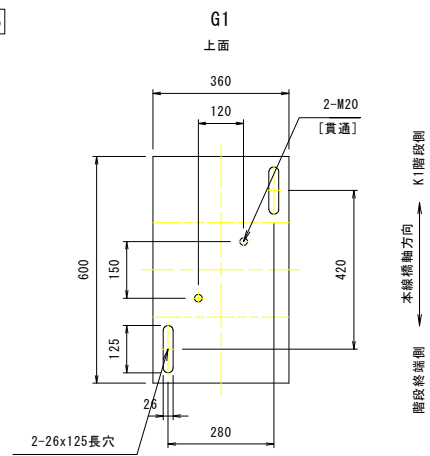
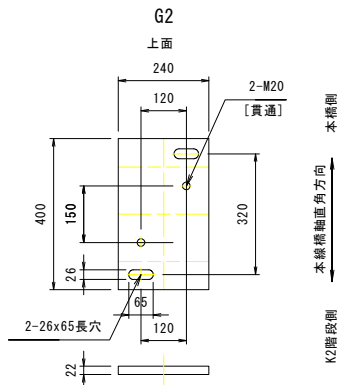
② ソールプレート (SM490A)

(SGめっき)

本橋部



P6部



※ アンカーボルト位置及びソールプレート形状は現地調査後決定のこと。

設計条件

支承条件		本橋部	P6部
最大反力	Rmax	20 KN	30 KN
最大反力 回転照査用	Rmax2	10 KN	20 KN
最大死荷重反力	R _D	10 KN	20 KN
最大活荷重反力	R _{L-1}	10 KN	20 KN
水平変位量	橋軸方向	ΔL1	31.8 mm
	橋軸方向	ΔL2	3.8 mm
地震時	橋軸方向	ΔLe1	---
	橋軸直角方向	ΔLe2	---

材料表 (1支承当り)

No.	名称	材質	個数	数量 (kg)		備考
				本橋部	P6部	
1	ゴム支承	CR+SS400	1	12.1	8.4	Ge=0.8N/mm ²
2	ソールプレート	SM490A	1	36.2	16.0	
3	アンカーボルト・ナット	SS400	2	3.9	4.1	ナット含む
4	セットボルト	---	2	0.3	0.3	
全質量 (kg)				53.1	28.8	

注) 1. O印は、ST-SG仕様とする。

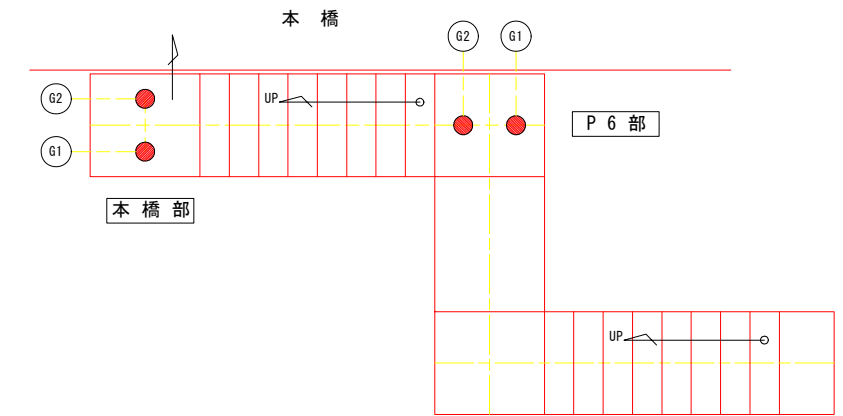
注) 2. 質量は参考質量とする。

④ 六角ボルト M20x35 強度区分 4.8

平座金 並丸 10H又は14H

※ セットボルト長さは現地調査後決定のこと。

配置図



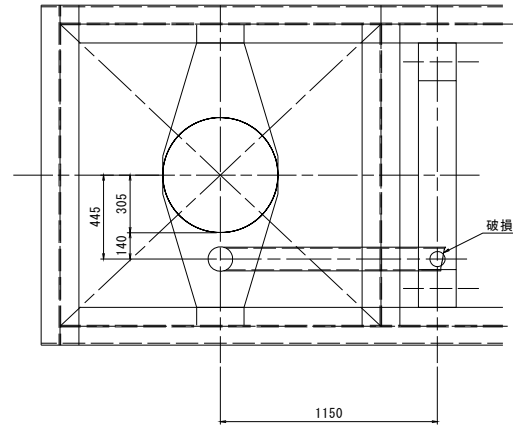
弁財天側

図面番号	第 4 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	支承詳細図		縮尺: 図示
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

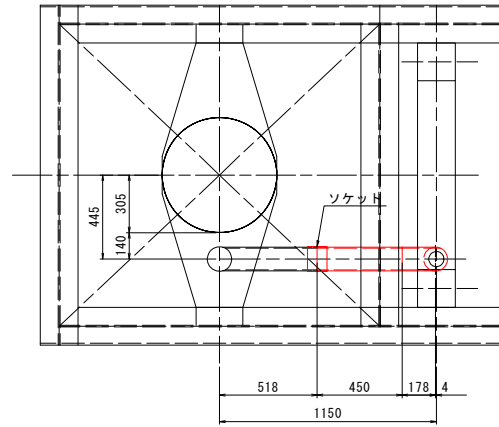
鳴門市 都市建設部 土木課

排水装置詳細図 S=1:20

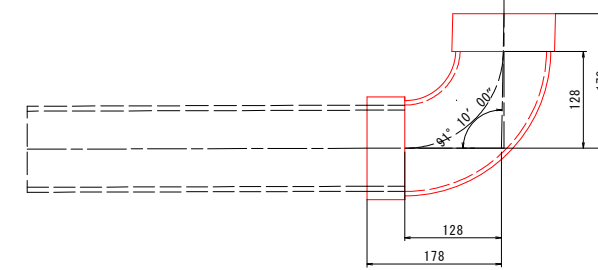
現況平面図



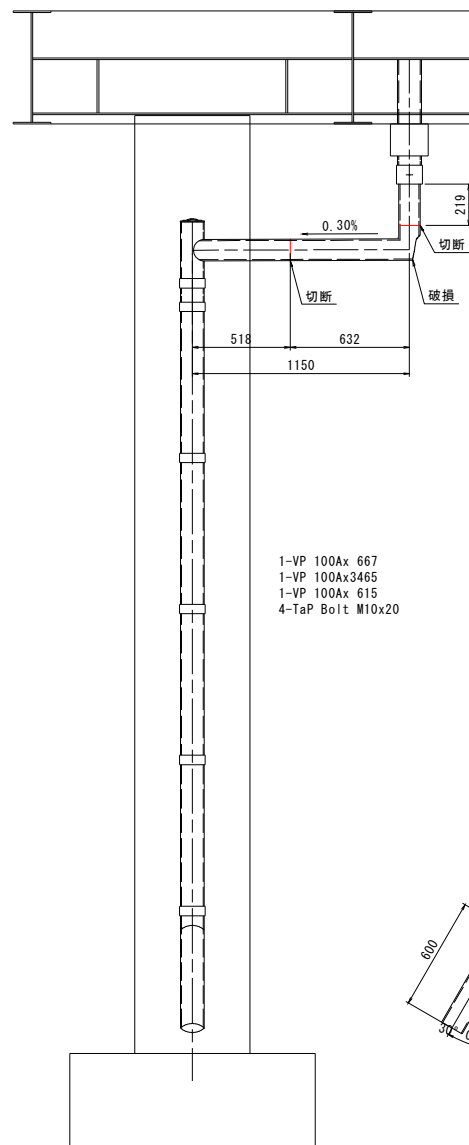
復旧平面図



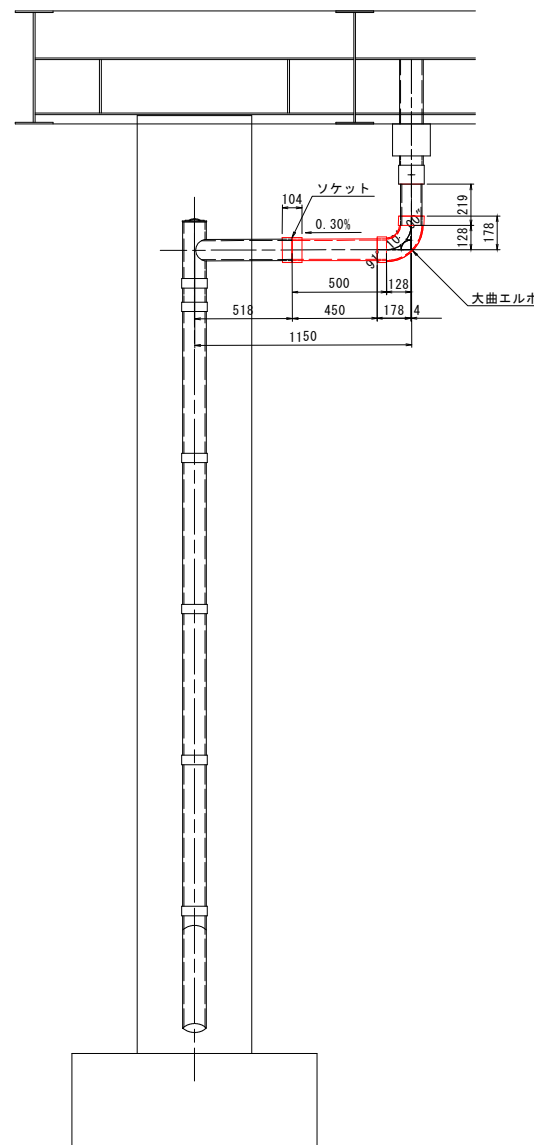
大曲エルボ詳細図 S=1:5



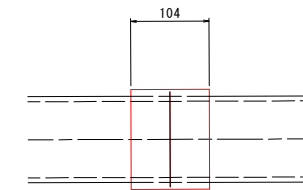
現況側面図



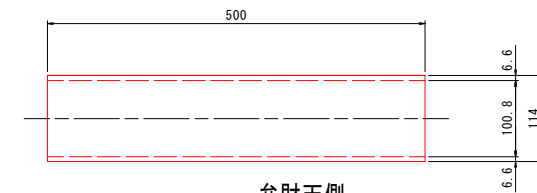
復旧側面図



ソケット詳細図 S=1:5



VP100詳細図 S=1:5

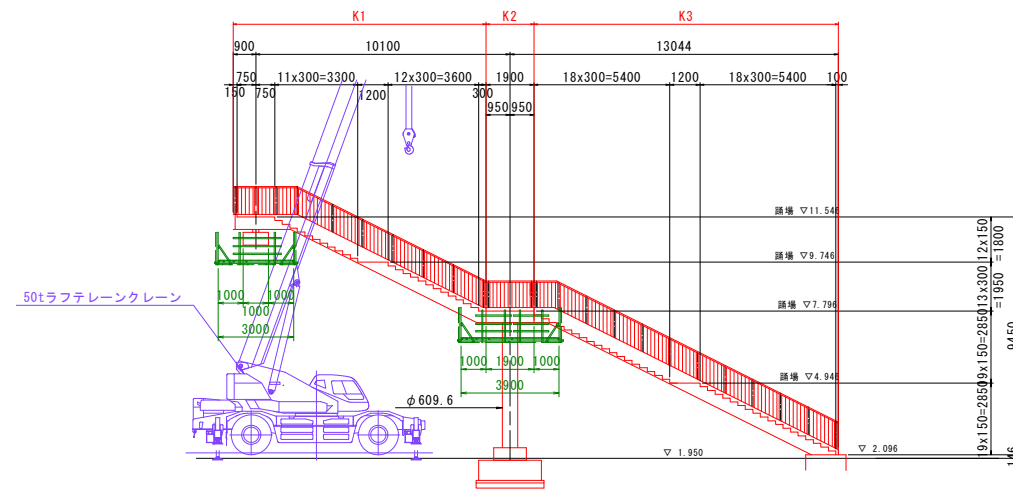


弁財天側

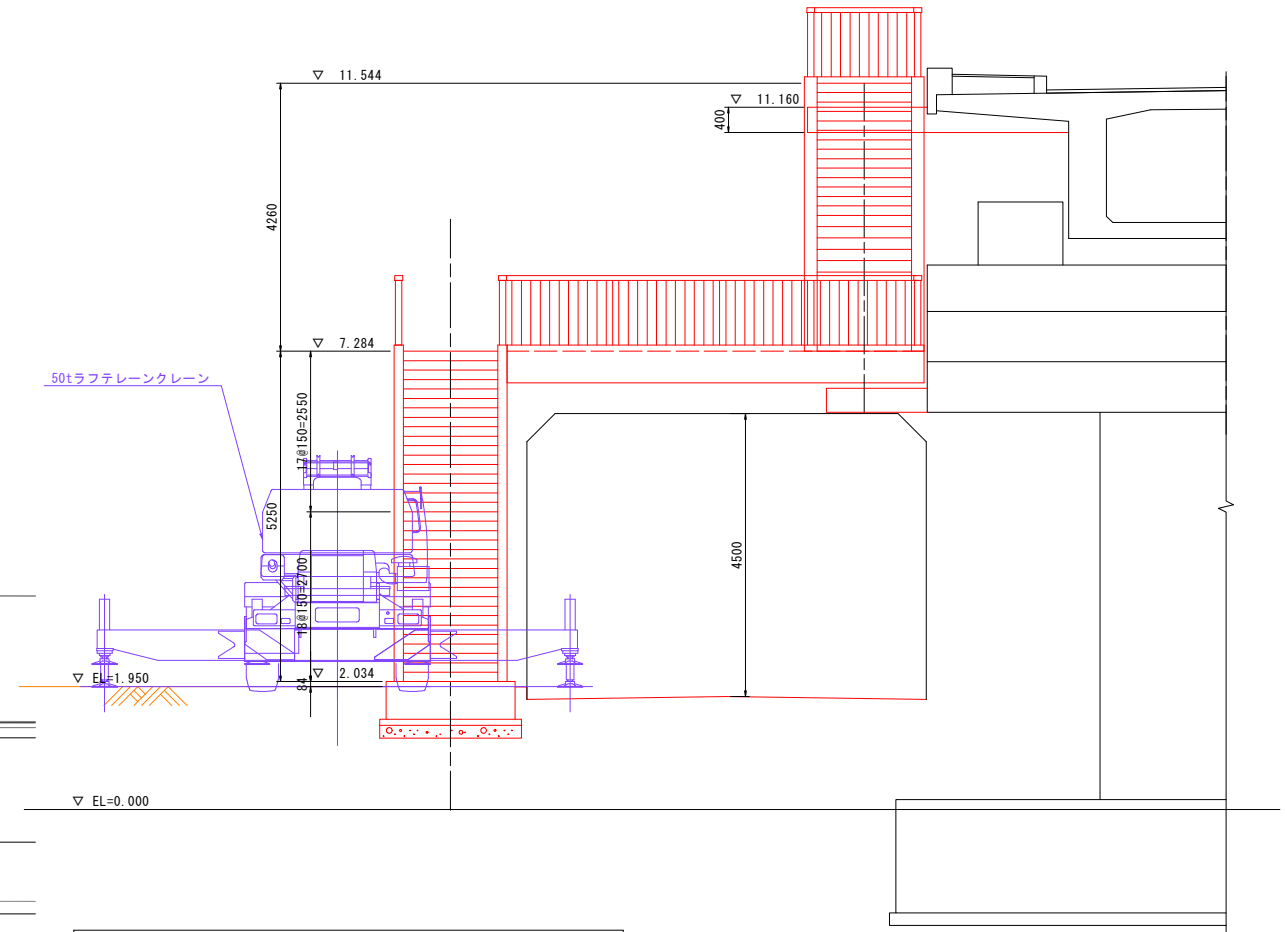
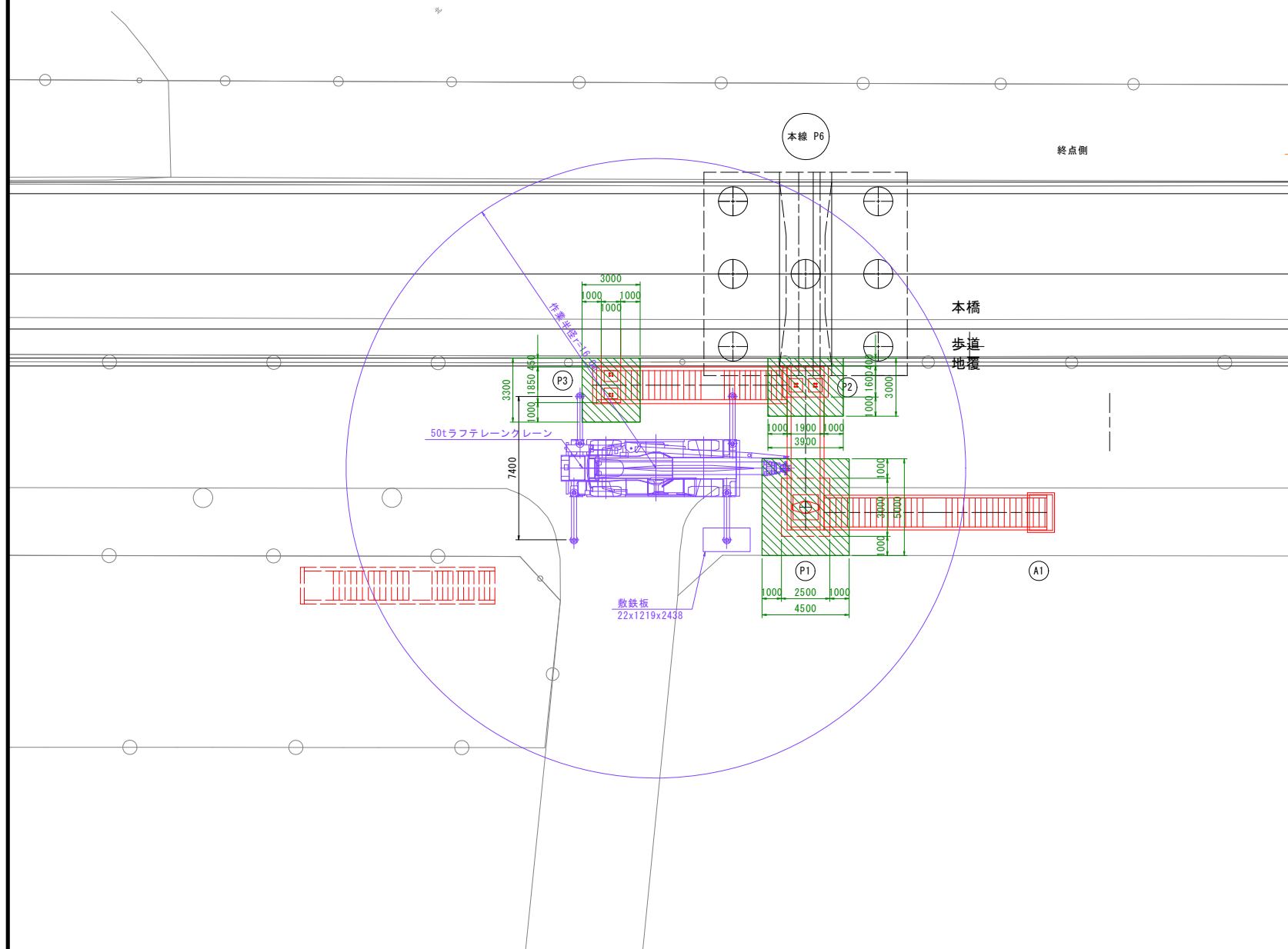
図面番号	第 5 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋梁補修工事		
図名	排水装置詳細図		縮尺：図示
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課

側面図



平面図



ラフテレーンクレーン機種の決定
 桁の重量 4.202t/最大重量(吊具重量含む)
 作業半径 R=16.0m
 アウトリガ前方7.4m張出
 フック重量 0.3t
 $W=4.202t/組+0.3t=4.502t < Ra=5.2t$ (吊能力)

50tラフテレーンクレーン
 吊能力表 単位(t)

ブーム長さ 作業半径	アウトリガ最大張出(7.4m)				
	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m
7.0m	21.3	17.0	12.5	11.0	9.0
8.0m	18.2	15.0	12.5	11.0	9.0
9.0m	15.0	13.4	11.5	10.2	9.0
10.0m	12.3	11.9	10.5	9.3	8.5
11.0m	10.2	9.9	9.6	8.5	7.8
12.0m	8.5	8.3	8.8	7.8	7.2
13.0m	7.1	6.9	7.9	7.1	6.6
14.0m		5.9	6.9	6.6	6.1
16.0m		4.3	5.2	5.7	5.3
18.0m		3.0	4.0	4.5	4.6
20.0m			3.1	3.5	3.7
A(°)	0~83.5				16~83.5

A:ブーム角度の範囲(無負荷時)

上部工重量総括表

部材名	上部工重量(t)
K1	4.202
K2	3.493
K3	4.102

弁財天側

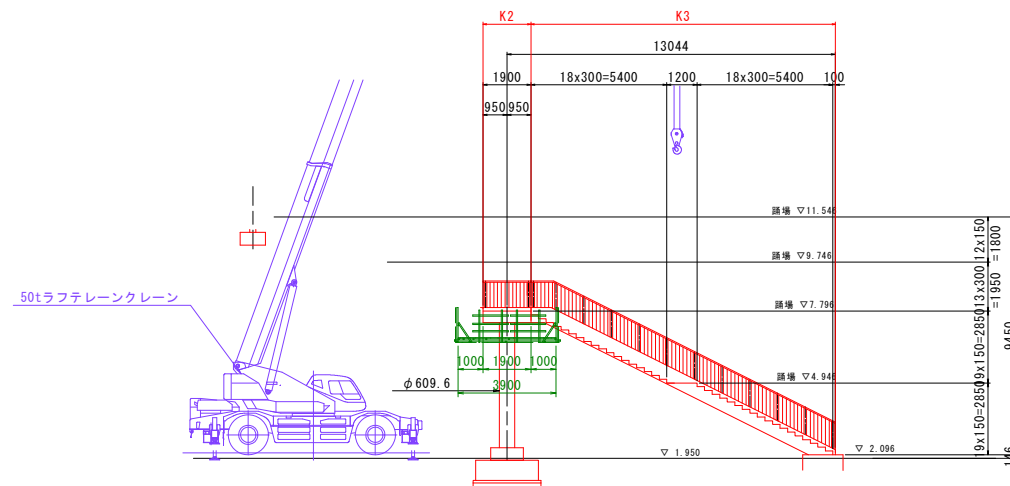
図面番号	第 6 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その1)		縮尺: 図示
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

注記)
 ・歩道の舗装割れを防止するため、歩道部に据える
 アウトリガには敷鉄板を設置すること。

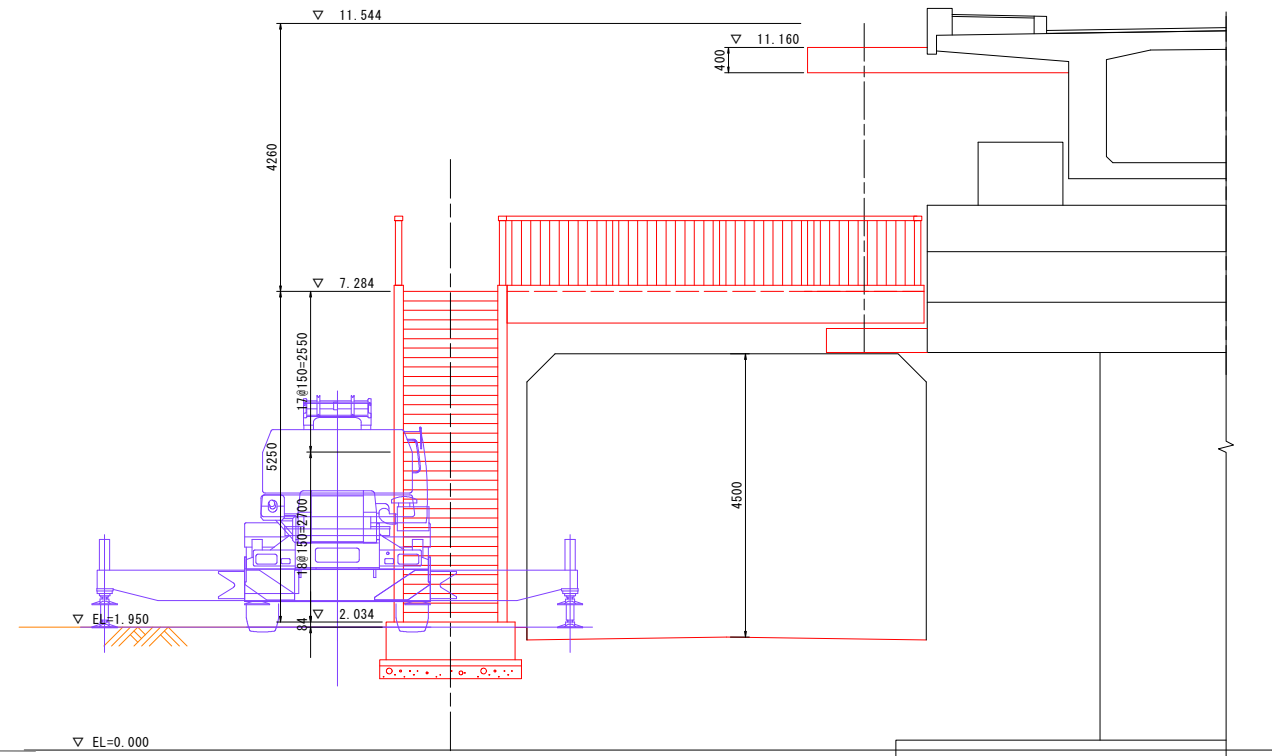
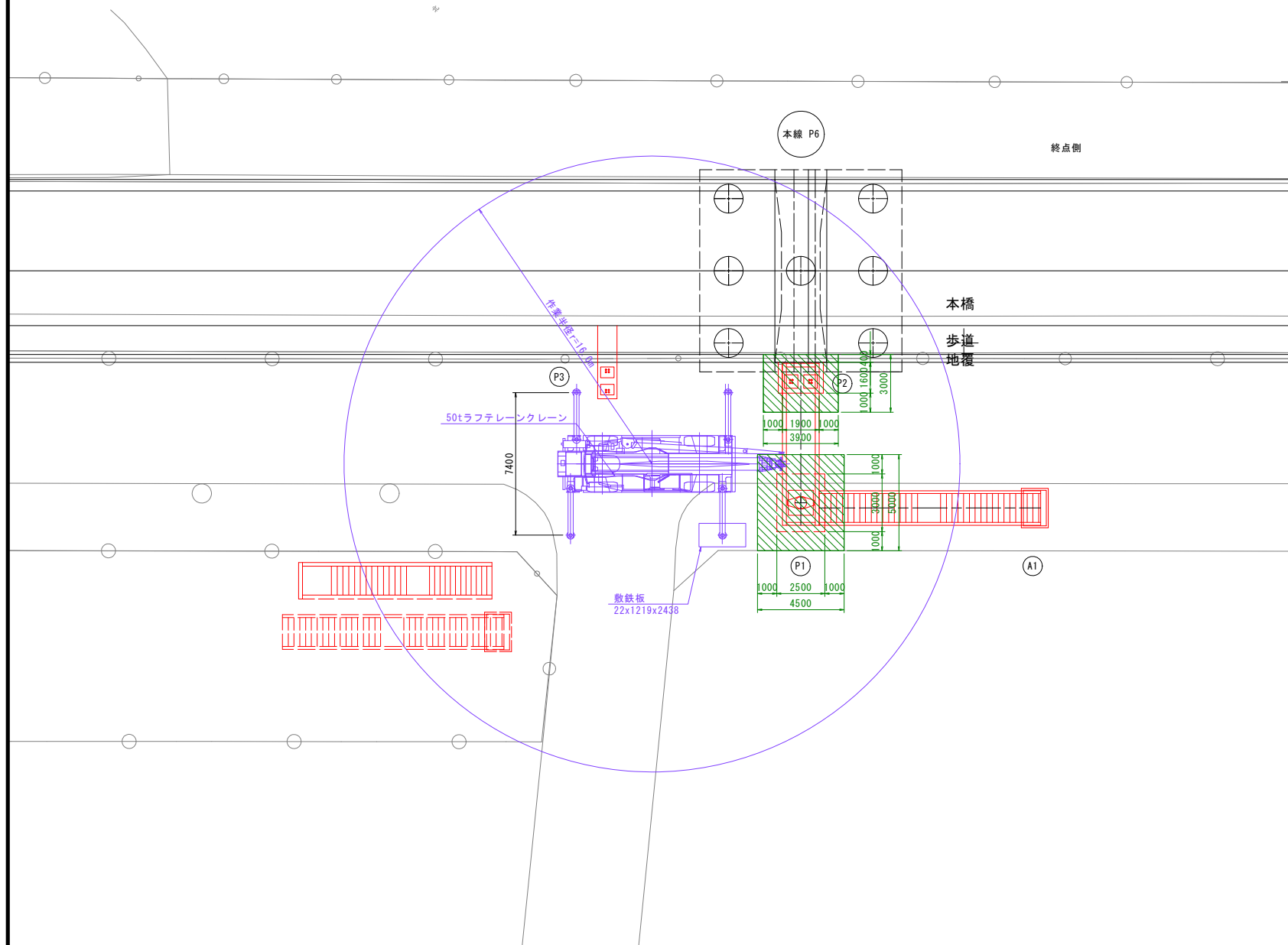
施工要領図(その2) S=1:60

断面図 S=1:60

側面図



平面図



施工ステップ

- 上部工(K1)撤去
- 上部工(K3)撤去
- 上部工(K2)撤去
- 支存取替
- 再塗装
- 上部工(K2)架設
- 上部工(K3)架設
- 上部工(K1)架設

ラフテレーンクレーン機種の決定
 桁の重量 4.202t/最大重量(吊具重量含む)
 作業半径 R=16.0m
 アウトリガ前方7.4m張出
 フック重量 0.3t
 $W=4.102t/組+0.3t=4.402t < Ra=5.2t$ (吊能力)

50tラフテレーンクレーン
吊能力表

ブーム長さ 作業半径	アウトリガ最大張出(7.4m)				
	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m
7.0m	21.3	17.0	12.5	11.0	9.0
8.0m	18.2	15.0	12.5	11.0	9.0
9.0m	15.0	13.4	11.5	10.2	9.0
10.0m	12.3	11.9	10.5	9.3	8.5
11.0m	10.2	9.9	9.6	8.5	7.8
12.0m	8.5	8.3	8.8	7.8	7.2
13.0m	7.1	6.9	7.9	7.1	6.6
14.0m		5.9	6.9	6.6	6.1
16.0m		4.3	5.2	5.7	5.3
18.0m		3.0	4.0	4.5	4.6
20.0m			3.1	3.5	3.7
A(°)	0~83.5				16~83.5

A:ブーム角度の範囲(無負荷時)

上部工重量総括表

部材名	上部工重量(t)
K1	4.202
K2	3.493
K3	4.102

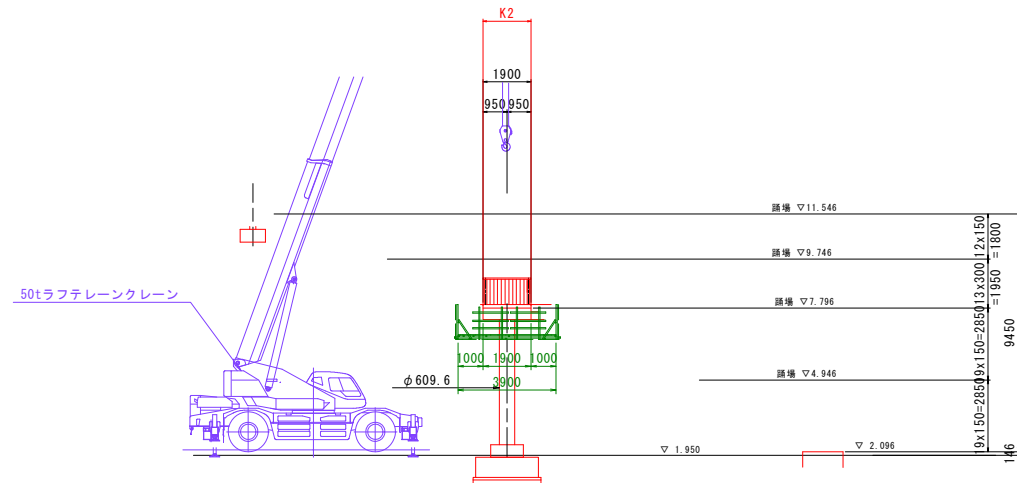
弁財天側

図面番号	第 7 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その2)	縮尺: 図示	
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

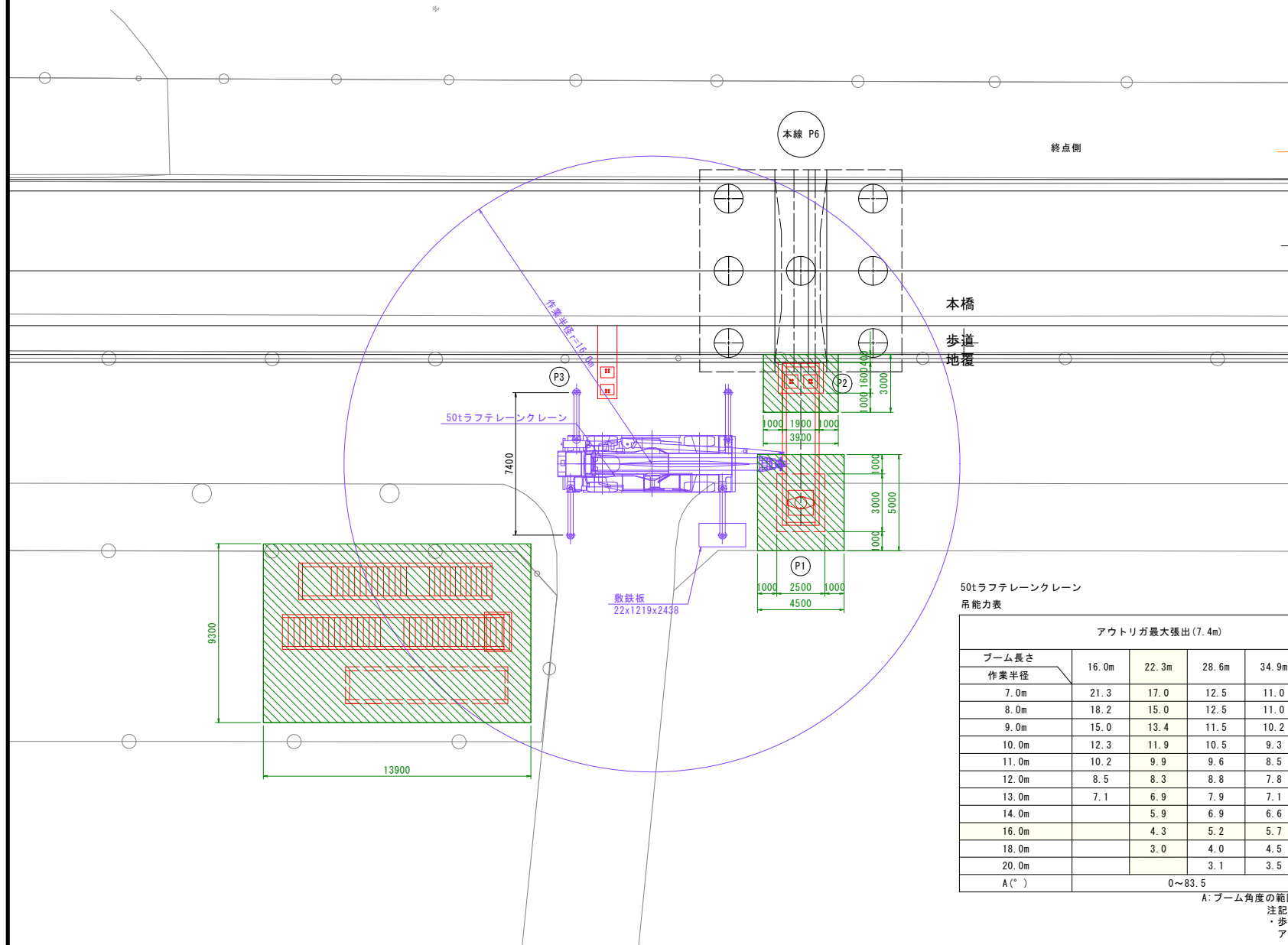
注記)
 ・歩道の舗装割れを防止するため、歩道部に据えるアウトリガには敷鉄板を設置すること。

施工要領図(その3) S=1:100

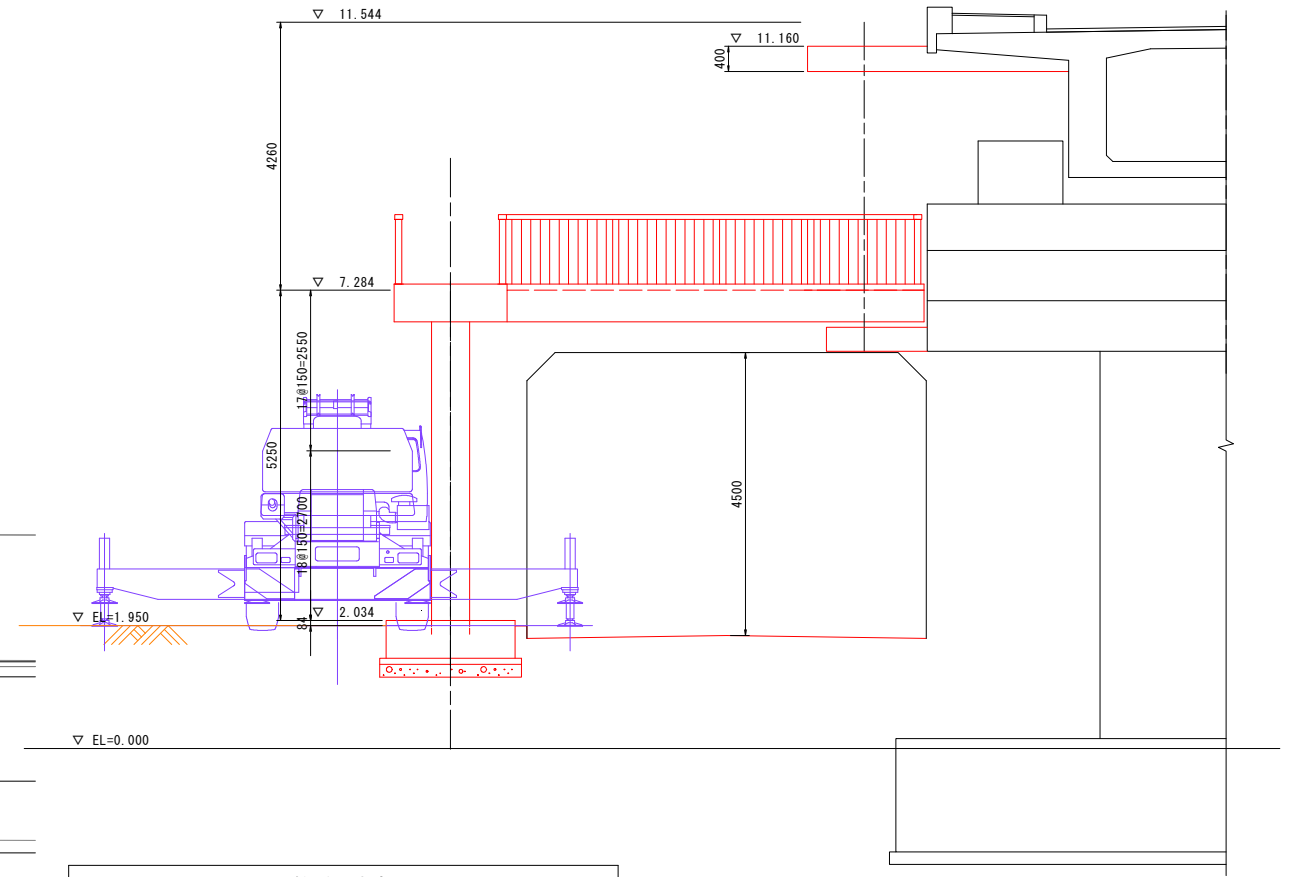
側面図



平面図

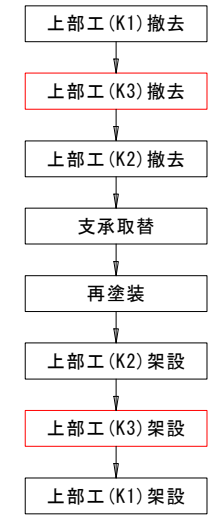


断面図 S=1:60



ラフテレーンクレーン機種の決定
 桁の重量 4.202t/最大重量(吊具重量含む)
 作業半径 R=16.0m
 アウトリガ前方7.4m張出
 フック重量 0.3t
 $W=4.102t/組+0.3t=4.402t < Ra=5.2t$ (吊能力)

施工ステップ



50tラフテレーンクレーン 吊能力表

ブーム長さ 作業半径	アウトリガ最大張出(7.4m)				
	16.0m	22.3m	28.6m	34.9m	38.05m
7.0m	21.3	17.0	12.5	11.0	9.0
8.0m	18.2	15.0	12.5	11.0	9.0
9.0m	15.0	13.4	11.5	10.2	9.0
10.0m	12.3	11.9	10.5	9.3	8.5
11.0m	10.2	9.9	9.6	8.5	7.8
12.0m	8.5	8.3	8.8	7.8	7.2
13.0m	7.1	6.9	7.9	7.1	6.6
14.0m		5.9	6.9	6.6	6.1
16.0m		4.3	5.2	5.7	5.3
18.0m		3.0	4.0	4.5	4.6
20.0m			3.1	3.5	3.7
A(°)	0~83.5				

単位(t)
 A: ブーム角度の範囲(無負荷時)
 注記)
 ・歩道の舗装割れを防止するため、歩道部に据えるアウトリガには敷鉄板を設置すること。

上部工重量総括表

部材名	上部工重量(t)
K1	4.202
K2	3.493
K3	4.102

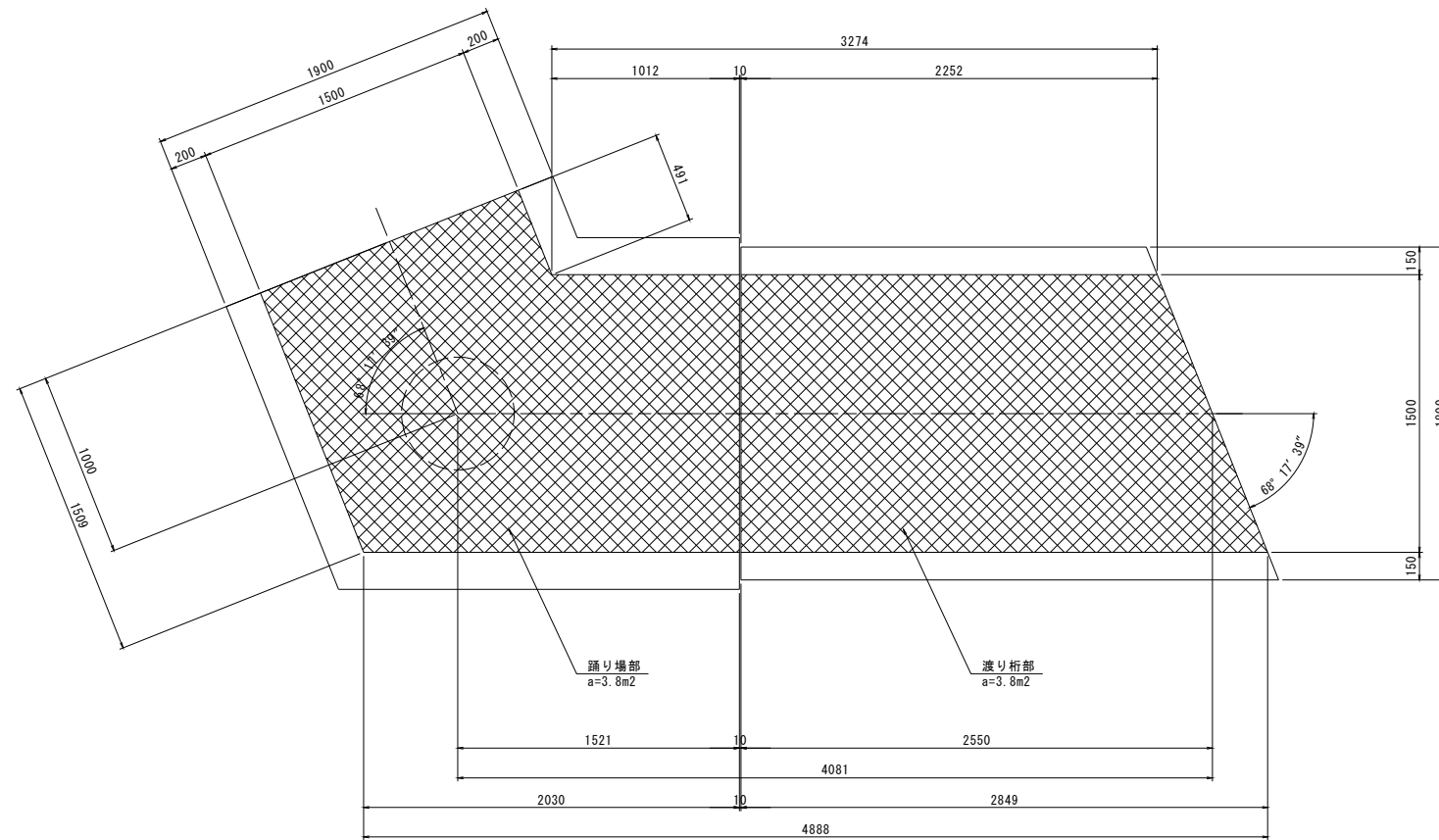
弁財天側

図面番号	第 8 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その3)		縮尺: 図示
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

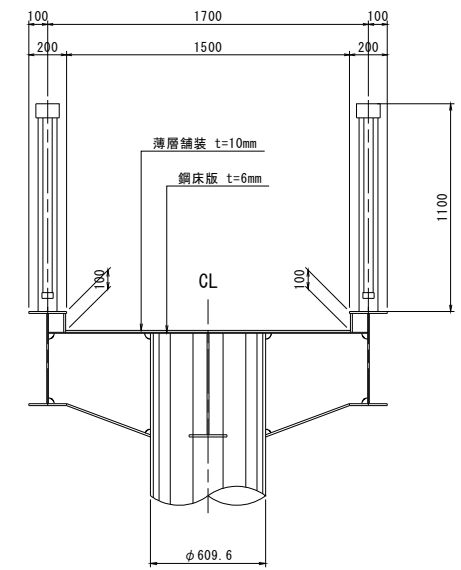
橋面補修構造図(その1) S=1:20

平面図

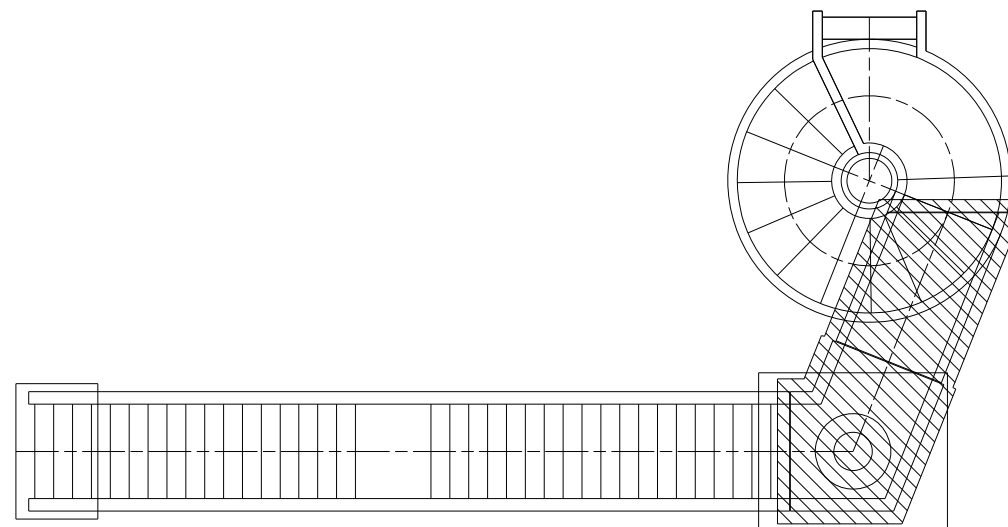
※通路部の舗装補修厚は薄層舗装t=10mmとする。



断面図



マーク図 S=1:60



※舗装の補修に際しては、現橋の舗装面を十分に検測してから行う。
 ※舗装の製品は、現橋の状況に類似した相当品を選択する。

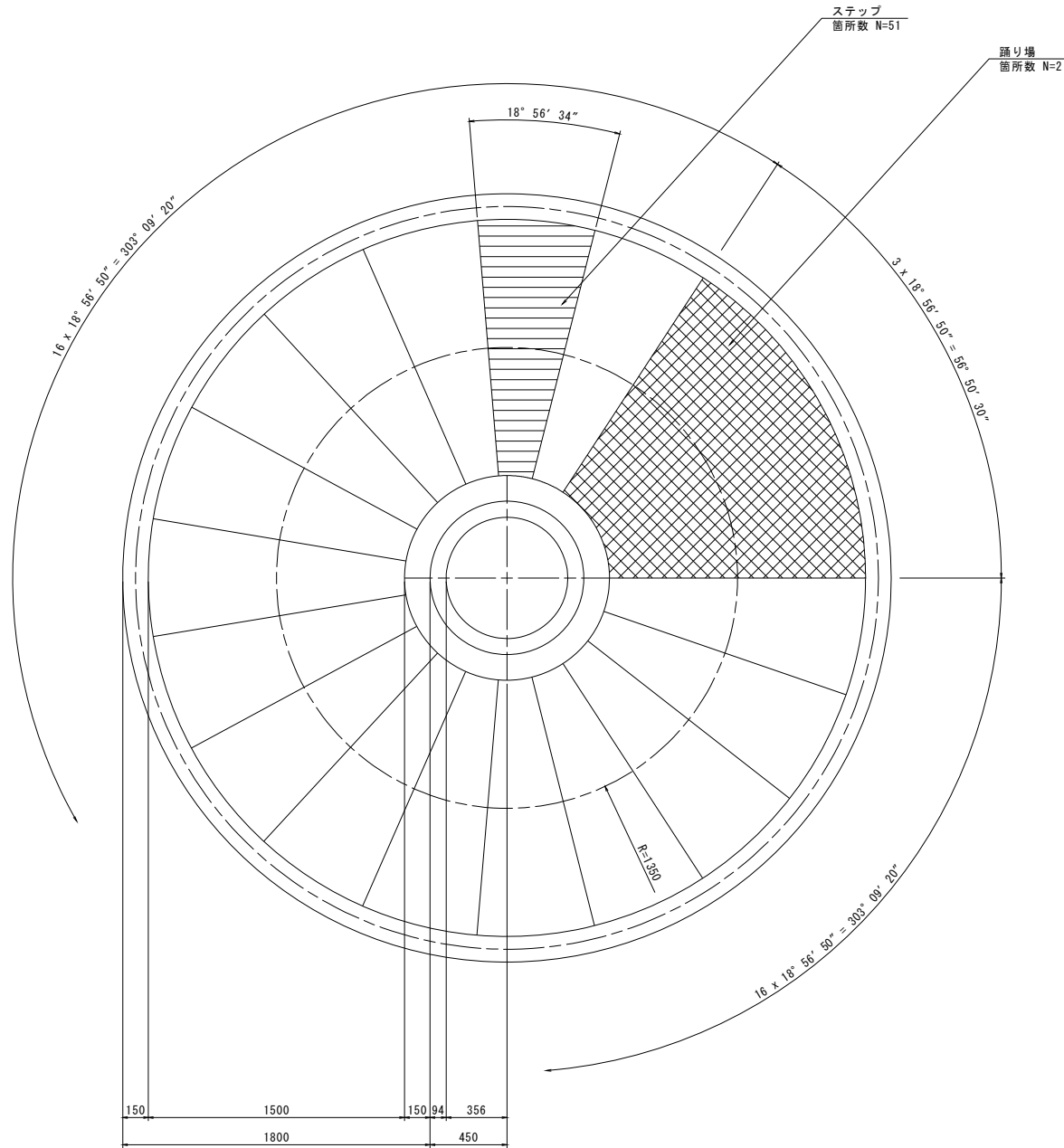
大桑島側

図面番号	第 9 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	橋面補修構造図(その1)		縮尺: 図示
製作年月	令和5年8月	所属年度	令和5年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課

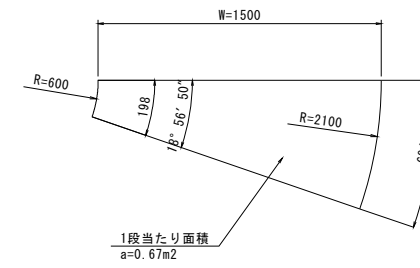
橋面補修構造図(その2) S=1:20

平面図



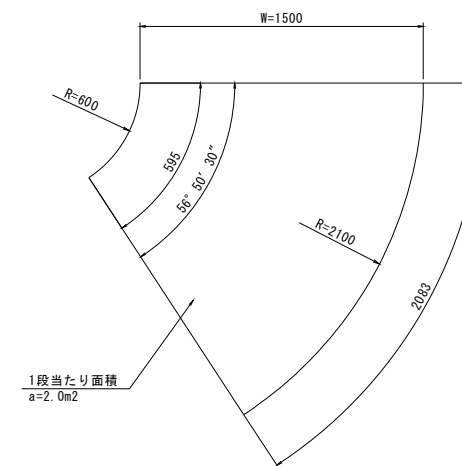
ステップ寸法

箇所数 N=51

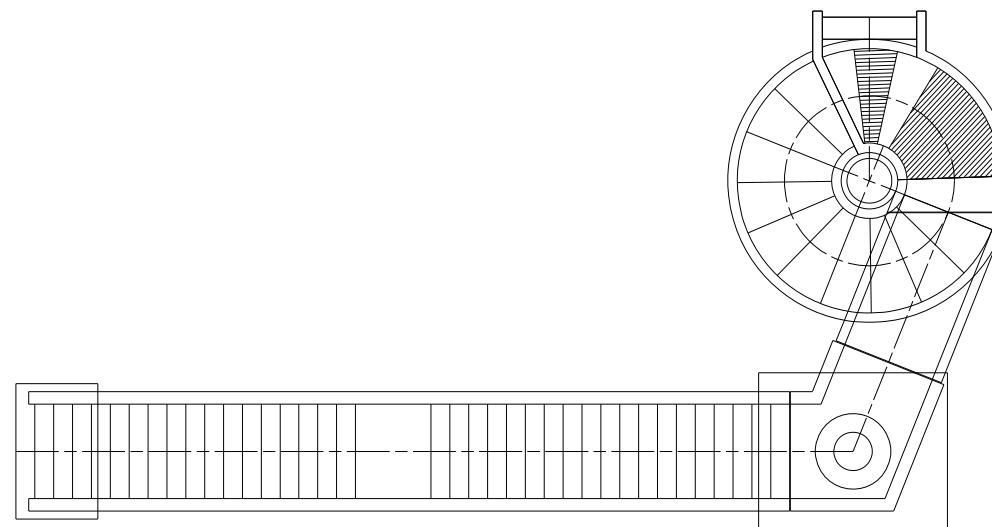


踊り場寸法

箇所数 N=2



マーク図 S=1:60



※ラセン部の舗装補修厚は薄層舗装t=10mmとする。
 ※舗装の補修に際しては、現橋の舗装面を充分に検測してから行う。
 ※舗装の製品は、現橋の状況に類似した相当品を選択する。

大桑島側

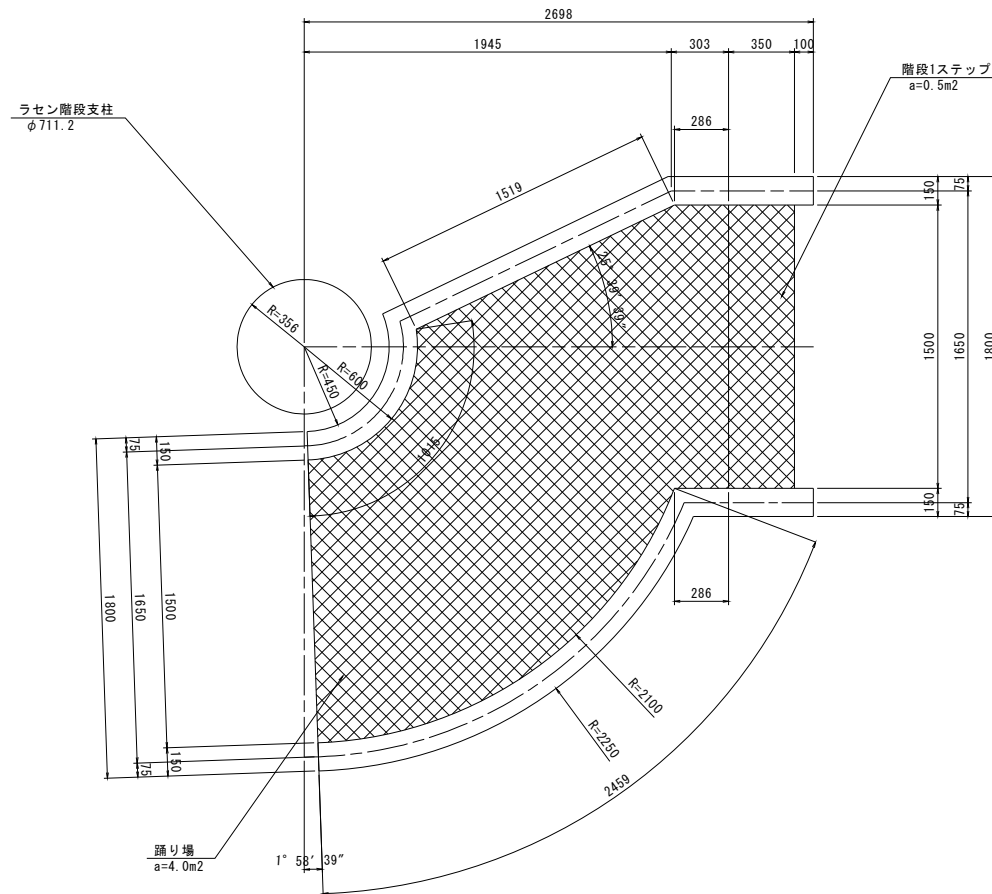
図面番号	第 10 号	図面総数	全 11 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	橋面補修構造図(その2)		縮尺: 図示
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課

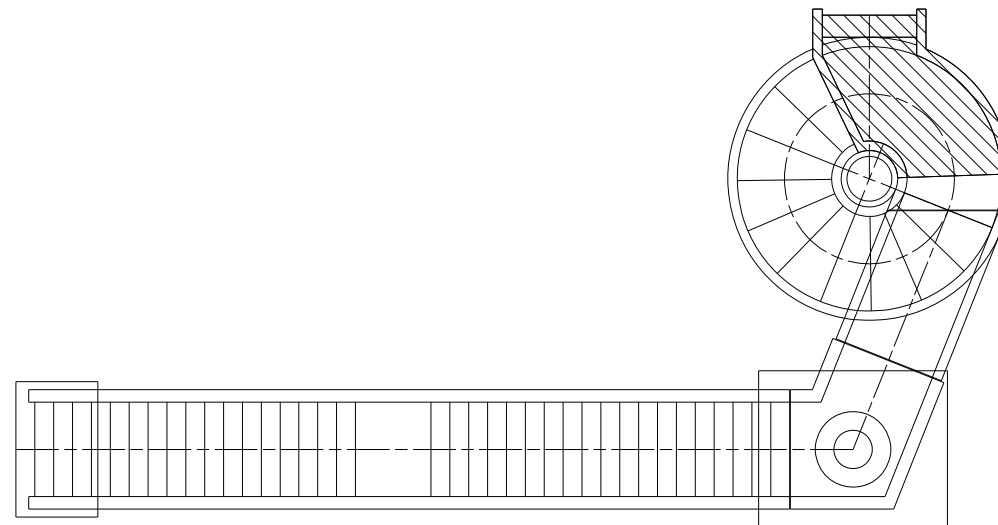
橋面補修構造図(その3) S=1:20

※ラセン部の舗装補修厚は薄層舗装t=10mmとする。

平面図



マーク図 S=1:60



※舗装の補修に際しては、現橋の舗装面を十分に検測してから行う。
 ※舗装の製品は、現橋の状況に類似した相当品を選択する。

大桑島側

図面番号	第 1 1 号	図面総数	全 1 1 葉
工事名称	撫養川大橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	橋面補修構造図(その3)		縮尺: 図示
製作年月	令和 5 年 8 月	所属年度	令和 5 年度
係員	課長	副課長	係長 係員 設計・製図 照査

鳴門市 都市建設部 土木課